

新刊案内

電子版(令和7年10月)・紙版(令和7年12月)

—令和8年4月1日以降、新たに着手する設計から適用—

道路橋示方書・同解説

(令和7年改訂版)

- I 共通編
- II 鋼部材・鋼上部構造編
- III コンクリート部材
・コンクリート上部構造編
- IV 下部構造編
- V 上下部接続部編

◆電子版 定価(税込み) 令和7年10月発売予定
I編 7,700円、II編 16,500円、III編 11,330円、
IV編 14,630円、V編 3,960円

◆紙版 定価(税込み) 令和7年12月発売予定
I編 8,470円、II編 18,260円、III編 12,540円、
IV編 16,170円、V編 4,290円

本書の概要

令和7年8月、国土交通省により「橋、高架の道路等の技術基準」(道路橋示方書)が改定されたことから、平成29年に刊行した「道路橋示方書・同解説」の改訂版を発刊するものです。

「道路橋示方書」は、昭和47年の制定以降、技術的な知見や社会的な情勢の変化等を踏まえて改定を行ってきており、高速道路、国道の橋梁、その他の道路橋の設計に一般的に用いられています。今回の基準は、令和8年4月1日以降、新たに着手する設計から適用することとされています。

今回の改定のポイントは以下の通りとされています。

- 新しい形式の提案に対しても適切に性能を評価するための枠組みを充実
- 様々な耐久技術の開発を見据え、耐久性能の評価方法を明確化
- 能登半島地震を踏まえた対応(復旧性を向上させるための規定を充実)

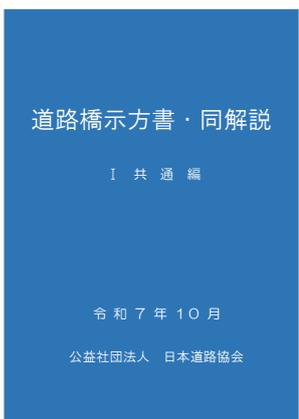
また、今回の改定では、I共通編で耐震関連も含めた荷重の設定などが網羅して規定され、橋の構成要素である上部構造等に適用されるII鋼部材・鋼上部構造編、IIIコンクリート部材・コンクリート上部構造編、IV下部構造編、V上下部接続部編の各編に応答の算出や制限値などが網羅して規定されるように、編構成が再編されました。

新たに発刊する「道路橋示方書・同解説」は上記の改定点も含めて、「道路橋示方書」の運用の統一が図られるように、規定の背景や解釈について解説した図書です。

注) 改訂版の発刊に伴い旧版となる電子図書「道路橋示方書・同解説」(平成29年11月)は、販売終了となります。



電子版(イメージ)



紙版(イメージ)

【発行】 公益社団法人 日本道路協会 〒100-8955 東京都千代田区霞が関3-3-1
お問合せ: TEL 03-3581-2211 FAX 03-3581-2232

【発売】 電子版 公益社団法人 日本道路協会ホームページ(<https://e-book.road.or.jp>)から

紙版 丸善出版株式会社 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-17 神田神保町ビル
お問合せ: TEL 03-3512-3256 FAX 03-3512-3270

